

# リハビリテーションセンター

## 1. スタッフ (2018年4月1日現在)

### 【医師】

センター長 (准教授)	森田 光哉
医師 (准教授)	星出 聡
(講師)	中嶋 剛
	遠藤 照顕
	小森 孝洋
(病院助教)	佐藤 弘隆
(臨床助教)	直井 為任
	山本奈津子
	小沼 早希
非常勤医師	大上 仁志

### 【子ども医療センター】

部長 (教授)	吉川 一郎
医師 (准教授)	渡邊 英明
(助教)	乗島 真理

### 【診療担当医師】

心大血管疾患	星出 聡
	小森 孝洋
脳血管・運動器・呼吸器	森田 光哉
	中嶋 剛
	遠藤 照顕
	山本奈津子
	小沼 早希
	直井 為任
	吉川 一郎
	渡邊 英明
	乗島 真理

### 【療法士】

室長	金子 操
室長補佐	黒淵 永寿
	南雲 光則
主任理学療法士	川合 直美、大澤かおる、
	関根 利江
主任作業療法士	玉野 彩
主任言語聴覚士	金子弥栄子
専任理学療法士	寺門 大輔、橋本 和子
理学療法士	22名
作業療法士	9名
言語聴覚士	5名
【事務】	
受付事務	2名 (交代勤務)

## 2. 対象疾患・治療種目

### 【理学療法】

理学療法は、日常生活に何らかの障害をきたす全ての疾病を対象にしている。主な疾患は、脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）による半身麻痺、四肢麻痺など、脊髄疾患（脊髄損傷、脊髄腫瘍による）、切断（糖尿病、外傷後、腫瘍による）、骨折、骨関節疾患（変形性関節症、関節リウマチ、靭帯損傷など）、神経筋疾患（パーキンソン病、筋ジストロフィー症、脊髄小脳変性症など）、呼吸器疾患、循環器疾患である。治療種目は、運動療法、電気刺激療法、温熱療法、牽引療法、水治療法を行っている。理学療法士は、医師の指示、評価に基づいて適切な治療法を組み合わせ、早期のADL自立獲得と社会復帰を目標に治療している。

### 【作業療法】

小児から高齢者まで生活に障害を持つすべての人にかかわり、訓練、治療を行っている。代表的な疾患は、脳血管障害、脊髄損傷、慢性関節リウマチ、パーキンソン病、外傷、骨折、脳性麻痺、筋ジストロフィー、ダウン症、自閉症などである。

### 【言語聴覚療法】

ほとんど全ての言語障害に対応、必要な言語リハビリ（言語訓練、指導、相談）を行っている。代表的な言語障害には、聴覚障害（難聴）、言語発達遅滞（ことばの遅れ：精神遅滞、自閉症などの発達障害に伴うものを含め）、機能的構音障害（発音の困難）、口蓋裂に伴う言語障害（構音障害）、脳性麻痺に伴う言語障害（構音障害）、吃音（どもり）、失語症（脳梗塞、頭部外傷などによる）、運動障害性構音障害および嚥下障害（脳疾患、神経疾患など）、音声障害（発声障害）である。

## 3. リハビリテーションセンターの特徴

### 【理学療法】

理学療法では、多種多様な疾病、障害に対応できるよう、整形外科系・内科系（神経内科中心）・外科系（脳神経外科中心）のチームを組んで診療している。

麻痺・筋力低下・関節拘縮といった機能障害の改善だけでなく、ADL自立に向けた基本的動作の獲得、障害を克服して生活するための精神・心理的サポート、医師・看護師とのカンファレンスを定期的に行なうなどチーム内での連携を図り、股関節・膝関節・脊椎等の手術後、脳血管障害後、神経・筋疾患、脳外科手術後、外科手術後など患者の生活再建・生活支援を主な業務としている。

心大血管リハビリテーションは、月・水・金の午後心

リハ専任医師の直接監視下で、専従理学療法士により行っている。心筋梗塞などによる入院患者のみならず、退院後の患者についても指導・加療している。

【作業療法】

作業療法部門では、病気や事故により障害を負った方々や発達時期に障害を受けた子供たちに対して、いろいろな作業活動（遊びも含め）を利用し、日常生活動作や社会適応能力回復のための訓練、治療を行っている。

また、たとえ障害があっても家庭や学校、職場、社会で生活できるように指導、援助も行っている。

【言語聴覚療法】

言語障害の様相は個々の言語障害内でも多様であり、個々の対象児、者の言語症状に合わせた言語リハビリテーションに努めている。また、小児科、耳鼻咽喉科、口腔外科、神経内科などと連携を図っている。

・認定施設

リハビリテーション医学会認定施設

・認定医・専門医

リハビリテーション医学会臨床認定医

- 専門医・指導医 森田 光哉
- 専門理学療法士 金子 操（運動器）
- 川合 直美（運動器）
- 大澤かおる（内部障害）
- 認定理学療法士 南雲 光則（神経筋疾患）  
（地域理学療法）
- 関根 利江（呼吸）
- 荒木 浩二（運動器）
- 福田 崇法（運動器）
- 橋本 和子（脳卒中）
- 濱田 佳祐（脳卒中）
- 認定作業療法士 黒淵 永寿
- 認定言語聴覚士 金子弥栄子  
（言語発達障害・摂食嚥下障害）

4. 実績・クリニカルインディケータ

2017年（2017/1/1～2017/12/31）のリハビリテーション科取り扱い患者数・単位数は、以下の通りである。

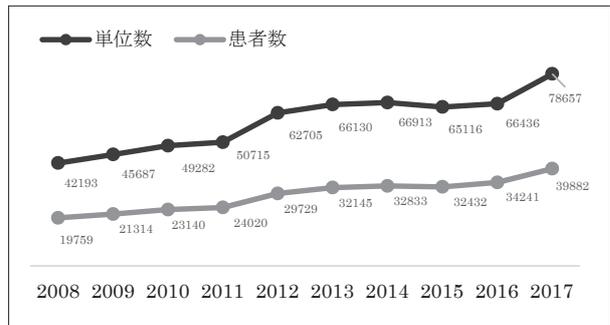
【2017年診療実績】

	理学療法		作業療法		言語聴覚療法	
	患者数	単位数	患者数	単位数	患者数	単位数
1月	2,733	5,199	1,074	1,977	383	752
2月	2,996	5,853	1,091	1,989	436	881
3月	3,239	6,257	1,136	2,175	528	1,045
4月	3,212	6,245	1,065	2,004	431	854
5月	3,226	6,548	1,164	2,206	446	850
6月	3,624	7,234	1,329	2,506	474	893
7月	3,451	6,838	1,148	2,178	453	902

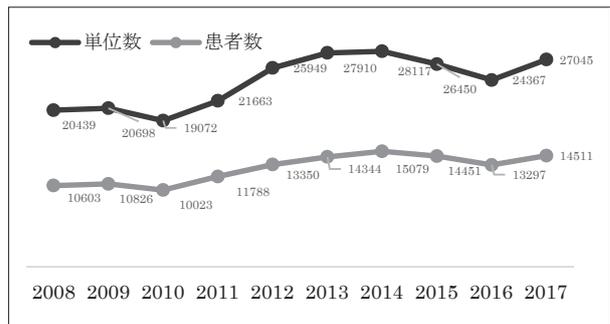
8月	3,587	7,130	1,250	2,380	464	982
9月	3,281	6,424	1,208	2,202	422	919
10月	3,468	6,997	1,348	2,478	528	1,020
11月	3,557	7,077	1,337	2,460	467	881
12月	3,508	6,855	1,368	2,490	471	941
合計	39,882	78,657	14,518	27,045	5,503	10,920

【2008年から2017年の実績推移】

理学療法



作業療法



言語聴覚療法



## 5. 他部門とのカンファレンス

リハビリテーションカンファレンス (脳神経外科)	第2・4 火曜日	17:30～ 18:30	脳神経外科病棟
リハビリテーションカンファレンス (整形外科)	隔週 火曜日	18:00～ 19:30	整形外科病棟
リハビリテーションカンファレンス (心大血管リハ)	毎週 水曜日	16:00～ 17:00	リハビリテーションセンター 心大血管リハ室
リハビリテーションカンファレンス (小児科)	隔月第3 火曜日	17:30～ 18:30	こども医療センター カンファレンス室
リハビリテーションカンファレンス (小児整形外科)	1回/3M 第2水曜日	18:00～ 19:00	整形外科病棟
二分脊椎カンファレンス	毎月第2 月曜日	18:00～ 19:00	こども医療センター カンファレンス室
口蓋裂カンファレンス	毎月第4 水曜日	18:00～ 19:00	こども医療センター カンファレンス室
補聴器外来カンファレンス	毎週 火曜日	17:00～ 18:00	耳鼻科外来

## 6. 研究業績 (2017年)

- 堀江深太, 関根利江, 矢田理恵: 理学療法介入を再考し、動作練習を進めたことでADL向上し、自宅退院できた一症例. 第21回栃木県理学療法士会学術大会. 栃木. 2017年12月10日
- 唐木春奈, 川合直美, 高德昭彦, 荒木浩二, 福田崇法: 軽症の血友病を有し、人工膝関節全置換術を施行した症例の理学療法. 第21回栃木県理学療法士学術大会. 栃木. 2017年12月10日
- 高石恵太: 大動脈弁狭窄症に対し、経カテーテル大動脈弁置換術心尖部アプローチを施行し理学療法介入した一例. 第21回栃木県理学療法士学術大会. 栃木. 2017年12月10日
- 関根利江: 呼吸リハビリテーション併用下にシロリムス療法を行ったリンパ脈管筋腫症の1例ー有効性評価項目としての身体活動量の意義についてー. 第27回日本呼吸ケアリハビリテーション学会学術集会. 仙台. 2017年11月17～18日
- 大澤かおる, 野澤洋平, 金子 操: 造血幹細胞移植患者の血小板低下の理学療法について. 第39回日本造血細胞移植学会総会. 島根. 2017年3月3日
- 村上知征, 牡鹿 実, 岡田 唯, 黒淵永寿: 急性期におけるAMPSの使用経験. 第3回北関東信越ブロック学会・第8回栃木県作業療法学会. 栃木. 2017年11月25日
- 小林真実, 黒淵永寿, 玉野彩: AADC欠損症に対する遺伝子治療後、リハビリテーションを施行した一

事例. 第3回北関東信越ブロック学会・第8回栃木県作業療法学会. 栃木. 2017年11月25日

- 玉野 彩, 黒淵永寿, 小林真実: 先天性四肢欠損児に対する介入の一事例. 第3回北関東信越ブロック学会・第8回栃木県作業療法学会. 栃木. 2017年11月25日
- 黒淵永寿, 玉野 彩, 小林真実: Sensory ProfileにおけるASD児の感覚特性. 第3回北関東信越ブロック学会・第8回栃木県作業療法学会. 栃木. 2017年11月25日
- 黒淵永寿: 災害リハビリテーションに関する士会員の意識調査. 第3回北関東信越ブロック学会・第8回栃木県作業療法学会. 栃木. 2017年11月25日
- 金子弥栄子, 小原まどか, 富樫結香, 五十畑 舞: 保護者指導が中心となった漢字書字困難な児への支援の一例. 第18回 日本言語聴覚学会. 島根. 2017年6月23日～24日
- 金子弥栄子, 桑島真理: 当院言語療法に紹介となったLD疑い児の言語評価についてーLCSAによる評価から支援を考えるー. 日本LD学会 第26回大会. 栃木. 2017年10月7日～9日

## 7. 2018年の目標・事業計画等

- ・良質なリハビリテーションサービスの提供
- ・施設・設備の充実
- ・リスク管理意識の啓発